

保護者様（世帯数配付）

「令和2年度 学校教育に関するアンケート(学校の教育活動全般にかかわる評価)」について

日頃は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、過日ご協力をいただきました「令和2年度 学校教育に関するアンケート(学校の教育活動全般にかかわる評価)」と、本校で実施した「児童アンケート」ならびに「教職員アンケート」の結果をもとに、下記のように「本校における教育活動に関する評価」をまとめました。今後も、皆様からいただいたご指摘等を踏まえ、次年度に向けて、本校の教育活動の改善に生かしてまいりたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

1 評価の判断基準について

4 = そう思う 3 = だいたいそう思う 2 = あまりそう思わない 1 = そう思わない

上記の回答に対して

「4」 > 50% 「4」 + 「3」 ≥ 90% 「2」 + 「1」 ≤ 8%

の条件を

「◎」…すべて満たしているもの 「○」…2つ満たしているもの
 「△」…1つ満たしているもの 「▲」…1つも満たしていないもの で評価しました。

2 評価結果と改善策

	項目・質問	対象	平均	4	3	2	1	評価
1	学習指導（授業の理解・学力の向上） Q. 授業の内容を理解しているか。	児童	3.6	66%	29%	5%	0%	◎
		保護者	3.2	31%	63%	5%	1%	○
		教職員	3.4	40%	55%	5%	0%	○
改善策	○ 主体的な学びにつながる学習形態の改善や環境整備に努め、より効果的な指導方法を工夫する。 ○ 対話により考えを深めたり、一人1台のタブレットを活用したりする活動を取り入れていくことで、楽しく学び合える授業を目指す。							
2	各種たよりや学校ホームページによる情報発信 Q. 教育活動を分かりやすく伝えているか。	児童						
		保護者	3.4	45%	48%	7%	0%	○
		教職員	3.4	50%	40%	10%	0%	○
改善策	○ 学校だよりやホームページにより、定期的・具体的な情報発信に努める。また、「比良西チャンネル」を充実させ、活動の様子を積極的に伝えていく。 ○ 保護者の方々の声が反映されるように、双方向の情報発信を工夫する。							
3	家庭や地域と協力・連携、相談体制 Q. 連携を図り、教育活動が行われているか。	児童	3.3	53%	31%	12%	4%	△
		保護者	3.3	37%	55%	8%	0%	○
		教職員	3.3	40%	50%	10%	0%	○
改善策	○ 教育相談の回数や時間の充実を図ってきた。今後も日頃から児童一人一人の実態を把握し、スクールカウンセラー等と連携しながら適切な支援を心掛ける。 ○ 職員間の共通理解を徹底し、児童一人一人によりきめ細かな支援ができる協力体制を整える。							
4	あいさつ Q. 進んであいさつができていますか。	児童	3.4	54%	35%	9%	2%	△
		保護者	3.3	41%	53%	5%	1%	○
		教職員	3.2	35%	50%	15%	0%	▲
改善策	○ 学校では、毎月第1週目の週目標をあいさつ関連にし、児童会でも「あいさつ週間」を設け高学年代表委員が登校時校門に立ってあいさつへの意識を高めている。今後も児童同士の関わり合いを大切にするとともに、継続して指導を続けることによって、児童の意識を高めていきたい。							
5	言葉遣い Q. 言葉遣いに気を付けているか。	児童	3.5	57%	33%	7%	3%	○
		保護者	3.1	30%	55%	14%	1%	▲
		教職員	3.2	35%	45%	20%	0%	▲
改善策	○ 集団生活における他者への心遣いや最低限のマナーについて、適切に継続的な指導を心掛ける。また、各教科や道徳科、特別活動の中においても、必要に応じて取り扱い、児童の意識を高めていく。 ○ 学校内だけではなく、PTAとも連携し、TPOに合わせた言葉遣いの定着を図る。							

	項目・質問	対象	平均	4	3	2	1	評価
6	けじめある生活 Q. 約束やルールを守り、生活できているか。	児童	3.6	68%	28%	3%	1%	◎
		保護者	3.4	39%	57%	4%	0%	○
		教職員	3.4	40%	60%	0%	0%	○
改善策	<p>○ 時間を守ることや授業と休み時間の切り替えをすることなど、継続的な指導を心掛ける。</p> <p>○ 気持ちよく学校生活を送るために、児童一人一人ができること・やるべきことを考えさせる。また、学校外でのルール（交通安全、防犯等）については、各家庭と協力し指導を進める。</p>							
7	学級経営の充実 Q. 学級・学校を楽しんでいるか。	児童	3.6	70%	22%	6%	2%	◎
		保護者	3.5	55%	41%	4%	0%	◎
		教職員	3.4	40%	60%	0%	0%	○
改善策	<p>○ 温かな人間関係を大切にし、友達と一緒に勉強したり、活動したりといった、「学校だからこそ味わえる楽しさ」を大切にしたい集団経営を目指す。</p> <p>○ 学習や学校行事等でも「できる喜び」や「達成感」を感じられるような指導・支援を心掛ける。</p>							
8	いじめのない学校づくり Q. 友達と仲良く助け合って生活できているか。	児童	3.7	72%	25%	2%	1%	◎
		保護者	3.4	41%	55%	4%	0%	○
		教職員	3.4	45%	50%	5%	0%	○
改善策	<p>○ 児童一人一人の声に耳を傾け、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めていく。</p> <p>○ 教育相談時に行う学校独自のアンケートや学校生活アンケート（4年生以上）、心とからだのチェックリスト等のアンケート結果や日頃の観察から、実態把握に努める。</p>							
9	親和的な集団づくり（学校努力点含む） Q. みんなで話し合ったり、活動したりするのは好きか。	児童	3.5	64%	26%	8%	2%	○
		保護者	3.4	45%	51%	4%	0%	○
		教職員	3.4	45%	50%	5%	0%	○
改善策	<p>○ 本年度学校努力点では、児童同士の学び合い・関わり合いを重点に各学級において実践を進めてきた。今後も、対話を取り入れた学習や様々な活動に向けた話し合い活動を通して、自分の意見や考えをきちんと伝えたり、相手の話をしっかり聞いたりしながら、合意形成や集団決定できる力を育てる。</p>							
10	学校行事、児童会・縦割り・委員会・クラブ活動の推進 Q. 各種活動に進んで参加しているか。	児童	3.6	70%	24%	5%	1%	◎
		保護者	3.5	52%	45%	3%	0%	◎
		教職員	3.2	50%	20%	30%	0%	△
改善策	<p>○ 学校生活が豊かになるように、各活動に主体的に取り組むことができるように指導・支援を行う。</p> <p>○ 本年度は限られた時間や活動制限のある中、最大限できる活動を考え、工夫し取り組んできた。児童のよりよい成長や達成感を感じられるように、内容の見直しや方法の改善、精選に努める。</p>							
11	安全指導 Q. 安全に関する指導や各種訓練は有効か。	児童	3.7	72%	25%	2%	1%	◎
		保護者	3.5	55%	43%	2%	0%	◎
		教職員	3.4	50%	40%	10%	0%	○
改善策	<p>○ 毎月行っている安全点検や保健・衛生面の点検により、不良・危険箇所の早期発見、早期修繕を心掛け、児童のけがや事故防止に努める。</p> <p>○ 児童への日々の安全・衛生指導とともに、職員も各種訓練や緊急対応に対する研修に努める。</p>							

3 その他

- 個人情報保護に関しては、データの管理や取り扱いを引き続き徹底していく。
- 本年度はSNSにおけるトラブルに加え、オンラインゲーム上のトラブルも多く、指導を行う機会があった。学校や家庭、警察等と連携して未然防止に努める必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症予防対策については、引き続き徹底し、各家庭にもご理解、ご協力をいただきながら、児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。

4 学校評議委員から

本年度は新型コロナウイルス感染症対策で、例年通りの学校生活を送ることができない中でも、できることを探し工夫して、子どもたちのために精力的に行事などを行ってもらえたのは本当に良かった。学習指導の面では、さらなる基礎基本の定着も大切だと感じる。時間のないところだが、個人ファイルを利用するなどして子どもたちの個々の課題を理解し取り組むことができるようにしてもよい。来年度もどうなるか分からない部分もあるが、引き続き子どもたちが楽しく充実した学校生活を送ることができるようお願いしたい。